

Telework2.0研究部会セッション

- 次世代 Telework を展望する - Telework2.0 のご提案 -

1. 本セッションの趣旨

Telework2.0 研究部会では、2010年以降、eJapan 戦略で提示された就業人口の20%をテレワーカーが占めた「個人、組織、社会の未来像」に関して、経営・組織、ビジネスプロセス、人的資源管理、テクノロジー、ワークプレイス、都市・地域の観点から、検討を行って参りました。

本セッションは、これまでの議論を踏まえ、Telework2.0 がめざす未来と実現に向けた政策案を提示させていただき、会場の皆様とのディスカッションの場とさせていただきまます。

皆様の積極的なご参加と、当日の活発な意見交換を期待しております。

2. 本セッションの進め方

本セッションの進め方は以下のとおりです。

- (1) 全体説明：これまでのディスカッションを踏まえて
- (2) Telework2.0 が目指す未来：提言（案）
- (3) Telework2.0 の実現に向けた政策（案）
- (4) 会場との意見交換

3. Telework2.0 がめざす未来：提言骨子

当日は下記の提言の説明に加え、政策に関するプレゼンテーションを行います。

(1) Telework2.0

Telework2.0 とは 情報通信技術を活用し、(時間と場所を超えた) 相互の発信・啓発により、「個」を強め、個人・組織・社会の連携強化により、 組織には「新たな経営手段」を、 個人には「生きる力」を 与えるものである。
--

(2) 提言

テレワークを新たな社会の枠組みとすることにより、可能性にあふれた国づくりを目指す。 人・組織・社会を、安心・知恵・元気で満たすために、9つの提言を示します。

	LIFE	WORK	SOCIETY
元気	自律的な働き方で「生きる力」の実現	新たな経営手段」による競争力強化	可能性にあふれた国づくりの実現
知恵	多様な交流を通じた知性と感性の充実	ネットワーク知による新価値の創出	ICT活用と事業創造による地域活性化
安心	育児・介護ニーズを充足した豊かな生活	事業継続性の確保	災害・過疎化・環境課題への挑戦

4. Telework2.0 研究部会メンバー

< 部会長 >

小豆川 裕子 (株) NTT データシステム 科学研究所 主幹 研究員

< アドバイザー >

W.A.スピックス 東京理科大学 工学部 経営工学科 教授

< 事務局 >

吉田 憲正 (社) 日本テレワーク協会 特別研究員

(50音順)

渥美 由喜 (株) 富士通 総研 経済研究所 主任 研究員
市川 宏雄 明治大学 公共政策大学院 ガバナンス 研究科
一之瀬 進 NTT アイティ (株) 取締役
加藤 茂 (社) 日本テレワーク協会 専務 理事
熊野 健志
佐堀 大輔 キヤノン (株) 事業開発企画部 開発戦略企画課 課長
柴田 郁夫 青森大学 経営学部 准教授 日本テレワーク協会
客員 研究員
菅原 研次 千葉工業大学 情報科学部 教授
通堂 重則 日本データコム (株) ITソリューション 事業本部
第1営業部 担当 部長
野口 邦夫 東芝 ビジネス & ライフ サービス (株) 経営企画部
担当 部長
福田 和久 (株) 日本能率協会 総合研究所 主任 研究員
村田 弘美 (株) リクルートワークス研究所 主任 研究員
山田 祐介 (株) NTT データシステム 科学研究所 研究員

(16 名)

以上